

モニタリング結果報告書

施設名 : 県立座間谷戸山公園

指定管理者 : 公益財団法人神奈川県公園協会

施設所管課(事務所名) : 厚木土木事務所東部センター

(平成22年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	11月12日	現地確認、月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認した。
11月	12月10日	12月22日	現地確認、月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認した。
12月	1月10日	1月14日	現地確認、月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認した。
1月	2月10日	2月21日	現地確認、月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認した。
2月	3月10日	3月15日	現地確認、月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認した。
3月	3月31日	3月31日	現地確認、月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認した。

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

- ・本公園の特徴である、里山の自然環境を守るため県民や市民団体と協働や連携して調査、保全活動を推進する。
- ・木道等の施設、樹木等の安全のための点検、清掃、補修等を行い来園者の安全確保に努めるとともに防災・防犯のため、業者、警察、関係機関との連携を図る。
- ・朝礼でのあいさつ唱和や研修を通じて来園者への気持良い対応に努めるとともにアンケート等を通じて利用者ニーズの把握に努める。
- ・利用促進方策として、従来のイベントを継続するとともに里山の自然や文化への探求心を深めるための新たなイベントを実施する。

<実施状況>

- ・月例の運営会議を実施するとともに、市民団体と協働で山野草・カエル・トタテグモ等の生息調査を実施した。また、里山環境の保全、整備活動を市民団体と協働で毎月行った。
 - 10月～3月 運営会議 6回 参加者112名
 - 10月～3月 里山保全隊 6回 参加者111名
- ・毎日、朝礼でのあいさつ唱和を行い、よりよい接遇に努めるとともに、アンケートによる利用者満足度調査を12月に実施した。
アンケート、ご意見箱等を通じて利用者ニーズの把握に努めた。
- ・利用促進方策として、従来のイベントである「米作り隊」「自然観察会」等を継続するとともに当公園の最大のイベントである第16回谷戸山公園まつりを市民団体と協働で行った。また、新たな事業として高齢化森林の若返りを図る「樹林地整備」に取り組んだ。
 - 11月28日 第16回谷戸山公園まつり～秋の里山をあじわおう！
参加者5,500名

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)		
年間予算額	59,000	59,000		59,000	0
上半期計 (a)	28,017	28,017	0 (0)	25,591	2,426
下半期計 (b)	30,983	30,983	0 (0)	32,587	-1,604
10月	4,966	4,966		4,125	841
11月	4,909	4,909		5,018	-109
12月	6,472	6,472		6,794	-322
1月	5,249	5,249		5,094	155
2月	4,962	4,962		5,270	-308
3月	4,425	4,425		6,286	-1,861
合計 (a+b)	59,000	59,000	0 (0)	58,178	822

1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。

2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

（今期に行った資本的な収入及び支出の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	なし	
支出の状況	なし	
積立等の状況	なし	(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	204,783人	208,228人	△1.7%
下半期計 (b)	183,254人	197,125人	△7.0%
10月	35,567人	39,106人	△9.0%
11月	37,633人	37,232人	1.1%
12月	28,818人	29,321人	△1.7%
1月	29,668人	31,977人	△7.2%
2月	26,480人	26,332人	0.6%
3月	25,088人	33,157人	△24.3%
合計(a+b)	388,037人	405,353人	△4.3%

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

〔 平成21年度下半期と比べ7.0%減少した。特に3月は減少が著しく、東日本大震災の影響と思われる。年間の利用者も僅かに減少したが、平成20年度と比べると増加している。 〕

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	1			1	2	4
11月	1		3		1	5
12月				1		1
1月	1	1	1			3
2月		1			1	2
3月				1		1

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・体験館縁側がペンキが塗られ気持良い。	気持良く使って下さい。
	・樹名板をもっと増やしてほしい。	今後検討します。
職員対応	・	
事業内容	・	
その他	・園内を禁煙にしてほしい。	主なベンチに禁煙のお願いを掲示した。
	・犬の放し飼いをやめてほしい。	掲示で呼びかけ、その都度注意を促す。

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

なし

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

事故や不祥事がなかったため、該当なし

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

- ・大きな事故もなく、環境に配慮した管理を心掛け概ね良好にできた。
- ・経年劣化による施設補修や高齢化森林の更新等の対応は引き続き行う必要がある。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・来園者は、大震災等の影響で多少減少したが、大きな事故もなく、大震災による直接被害はほとんどなかった。照明の間引き、自動ドアの手動化等節電に努めた。 ・公園まつり、米作り隊、観察会等のイベントは計画通り実施した。 ・長屋門の塗装、池の一部の浚渫、園路の補修等経年劣化に伴う施設補修等を行ったが引き続き、土木事務所と調整しながら対応する。 ・高齢化した森林の更新のためのモデル地区整備を行ったが、今後は計画的な整備が望まれる。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> ・来園者は昨年度に比較すると減少しているが、例年並みの来園者数がある。また、満足度調査においても7割の方が公園に対して満足との印象をもたれているため、良好な管理運営が図られていると判断できる。 ・劣化した施設の補修については、指定管理者からの確に情報提供がされている。引き続き情報の速やかな提供をお願いしたい。 ・高齢化した森林の更新のためのモデル地区整備をボランティア団体と協力して行うなど、管理について積極的な姿勢が見られる。 ・以上のことから指定管理業務を良好に遂行していると評価できる。